

# セキュリティ対策への理解を深めました！

～情報セキュリティセミナー2015～

以前から、インターネットの利用によりウィルスに感染しパソコンが動作不能になるなどの被害が発生していましたが、近年、標的型攻撃と呼ばれる、電子メールなどを利用し企業や個人が保有する機密情報や資産などが盗まれるケースが増えてきています。

そのような被害を未然に防ぐため、北陸情報通信協議会では総務省北陸総合通信局との共催により「サイバーセキュリティ月間」期間中の2月24日、金沢市内において「情報セキュリティセミナー2015」を開催しました。



セミナー会場の様子

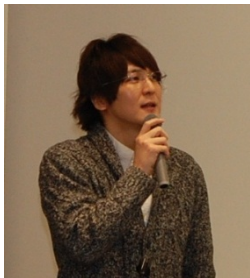
この中では、まず、総務省 情報流通行政局 情報セキュリティ対策室 課長補佐の堀川 亮から「総務省における情報セキュリティ政策の最新動向について」と題し講演。情報セキュリティ上の脅威の変遷から政府としての情報セキュリティ政策推進体制、そしてM2M（人を介しないで機器がネットワークに繋がれた機器同士が相互に情報交換を行う機器間通信）上にまで忍び寄っている脅威などについて説明がありました。



北陸総合通信局  
星 局長あいさつ

次に、ソフトバンク・テクノロジー株式会社 シニアセキュリティエヴァンジェリスト・ 伸弘 様から、「セキュリティ対策以前 ～正しく知り、怖がる第一歩～」と題し講演。情報セキュリティ対策においては、リスクをゼロにはできないので、なにを守るかを明らかにすることが人的、金銭的要因から重要であり、攻撃者の目的（機密情報の奪取など）を達成させないような準備をしておくことが重要であると、指摘されました。

100名に及ぶ出席者は、メモをとるなどし、熱心に聴講されていました。



ソフトバンク・テクノロジー株式会社

・ シニアセキュリティエヴァンジェリスト